

# Istanbul Weekly vol.6-no.9

## イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年3月10日（金）

### — 今週のポイント —

**政治：**欧州での国民投票キャンペーンを巡ってトルコと欧州各国が対立。  
米國務省発表の人権に関する報告書にトルコ政府が反発。

**経済：**2月の年間インフレ率、2012年以来の2倍に。  
フィッチ、トルコ経済の緩やかな回復を予測。

**治安：**ISILのイスタンブール拠点の“リーダー”釈放1年後に再拘束。  
女性の日の集会に対して、「アッラーアクバル」と叫ぶ集団が攻撃。  
大手防衛関連企業アセルサンに対するFETO捜査始まる。

**軍事：**トルコのマンビジ攻撃を米露が阻む動き。  
シリア軍戦闘機、ハタイ県に墜落。

**社会：**ユーラシアトンネルの通行料がインターネットで支払い可能に。  
国際女性デー：イスティクル通りでデモ行進。

### 政治

#### 【内政】

#### ●欧州での国民投票キャンペーンを巡る問題での各党の立場

欧州での憲法改正の是非を問う国民投票キャンペーンを巡る欧州との対立が深まっている問題で、バフチェリ MHP 党首は、ドイツの対応を非難したエルドアン大統領を支持すると発言。また、クルチダルオール CHP 党首も、ドイツの対応を非難するなど、国民投票での反対を呼び掛ける陣営も、与党側と歩調を合わせた。（3月9日付C紙5面他）

#### 【外交】

#### ●欧州での国民投票キャンペーンを巡ってトルコと欧州各国が対立

(1) 4月16日の国民投票に向けて AKP が欧州各国に在留するトルコ人を対象にしたキャンペーン集会の開催を目指していることに、ドイツ、オーストリア、オランダの各国で相次いで集会実施の禁止措置が取られている。こうした動きに対してトルコ政府が反発を強めている中、特エルドアン大統領が「ナチスの風習はなくなったと思っていたが、いまだに続いている」と非難したことにドイツ側が更に反発、欧州各国との非難の応酬が強まっている。（3月6日付H紙1面他）

(2) 8日、チャヴシュオール外相はドイツを訪問し、ガブリエル独外相と会談した。同会談では、国民投票キャンペーンを巡る両国の対立を巡って、独側がナチス時代に言及したエルドアン大統領発言を「超えてはならない一線」と批判、トルコ側も、トルコに対する「ブラック・プロパガンダ」をやめるよう主張した。一方で両外相は、問題の解決に向けた歩み寄りの必要性についても議論し、後日改め

て会談を行うことで合意した。（3月9日付M紙1面ほか）

#### ●米國務省発表の人権に関する報告書にトルコ政府が反発

3日に米國務省が発表した各国の人権状況に関する報告書について、トルコ外務省は4日、声明を発表し、トルコがテロとの正当な闘いを遂行している事実を反映していない、として、PKKとの戦いを「内部対立」と定義したことをはじめ、容認できない主張や事実誤認の表現が含まれるとして強く非難した。同報告書では、トルコ政府が言論の自由に介入しているなどいくつかの点で批判的な記述を行っていた。（3月5日付M紙インターネット版）

#### ●エルドアン大統領、10日にロシアを訪問へ

大統領府は7日、エルドアン大統領が10日にモスクワを訪問すると発表した。同日に開催される第6回トルコ・ロシア・ハイレベル協力会議では、エルドアン大統領とプーチン露大統領が共同議長を務め、二国間関係や地域情勢など様々な議題が協議される。（3月7日付H紙インターネット版）

#### ●ムルキー・ヨルダン首相がトルコを訪問

7日、ヨルダンのムルキー首相がトルコを訪問、ユルドゥルム首相と会談し、エルドアン大統領にも表敬した。ユルドゥルム首相は、防衛相も兼ねる同首相との会談後、特にヨルダンとの軍事分野での協力を今後強化していくと述べた。また、両首相は、シリア問題を巡って最も難民を多く受け入れている両国が協力して地域情勢の解決にあたっていくことで一致した。（3月8日付S紙インターネット版）

#### ●2017年、トルコと韓国が外交関係樹立60周年

トルコと韓国は3月8日、1957年の外交樹立から60周年目の節目を迎えた。トルコ外務省はプレスリリースの中で、トルコと韓国の関係が戦略的パートナーシップのレベ

ルまで高められたと評価し、2017 年は、「トルコ・韓国文化年」として、両国で様々な文化事業が行われる予定であると発表した。(3 月 9 日付 M 紙インターネット版)

## 経済

### 【マクロ経済】

#### ●2 月の製造業 PMI、安定的

2 月の製造業 PMI（購買担当者指数）は、1 月の 48.7 から上昇し 49.7 となった。2016 年平均 48.8 を上回った。IHS Market のバルチン上席エコノミストは、同数値につき、トルコ製造業がほぼ安定的であることを示すとコメントした。(3 月 1 日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●2 月の輸出、5%以上増加

トルコ輸出業者会議（TIM）の発表によると、2 月の輸出は前年同月比 5.1%増加し 113 億ドル。中国、イスラエル及び米国への輸出が、それぞれ同 67%、27.8%、26.5%と大幅に増加した。品目別では、自動車と同 12.5%増、オリーブ及びオリーブオイルが同 82.3%増、宝石が同 64%増。過去 12 か月間の輸出は、前年同期比 2.6%増加し 1432 億ドル。(3 月 1 日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●2 月の年間インフレ率

2 月のインフレ率は 0.81%、年間インフレ率は 10.13%となった。部門別に見ると、月間で最も上昇したのは交通関係（2.82%）で、年間ではアルコール飲料及びタバコ（21.72%）。(3 月 3 日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●2 月の宝石類輸出、急増

2 月の宝石類の輸出は、前年同月比 64%増加し 2 億 5500 万ドル。最大の輸出先はアラブ首長国連邦（31%）で、イラク（26%）、米国（6.3%）が続く。地域別には、中東への輸出が 66%と最も多く、EU 諸国（10.4%）が続く。(3 月 8 日付 HDN 紙 11 面)

### 【経済政策】

#### ●トルコのインフレ率、下降へ

チャティンカヤ中央銀行総裁は、最近の金融引き締め政策によりトルコのインフレ率が今後数か月の間に下降すると発言。また、中銀としては物価動向を入念に観察し、必要な場合にはさらなる引き締めを実施すると述べた。(3 月 8 日付 AA インターネット版他)

### 【エネルギー関連】

#### ●2 月に 28 基の新たな発電所が運転開始

6 日、エネルギー天然資源省は、2 月に 28 基の新たな発電所が運転を開始したと発表。電源別では、風力（12 基）、水力（6 基）等で、新発電所の運転による電力生産量増加分の 94%が国内資源によるもの。(3 月 8 日付 HDN 紙 11 面)

#### ●エネルギー多様化がカギ

アルバイラク・エネルギー天然資源相は、トルコのエネルギー部門の目標は多様化であると発言。また、原子力は重要な役割を担うものであり、総発電容量の少なくとも 10%を目指すとして述べた。(3 月 9 日付 HDN 紙 11 面)

### 【観光関連】

#### ●イスタンブールへの外国人訪問客、急減

1-2 月のイスタンブールへの外国人訪問客数は 16%減少し 114 万人。2016 年の訪問客数は前年比 26%減少。減少率は過去 16 年間で最大となった。(3 月 9 日付 HDN 紙 10 面他)

### 【企業等の動き】

#### ●セルビアのトルコ企業、2 年間で 3 倍に

DEIK のメジェドヴィック・トルコ・セルビア経済委員長は、

セルビアのトルコ企業が過去 2 年間で 3 倍以上に増加し、今年 2 月までに 454 社に達したと述べた。2016 年のトルコからセルビアへの輸出は 5 億 8200 万ドル、輸入は 2 億 8800 万ドル。(3 月 6 日付 HDN 紙 11 面)

### 【イスタンブール関連】

#### ●今後 3 年間でベイオール区に 100 億ドル以上の投資見込み

1 日、デミルジャン・ベイオール区長は、今後 3 年間でベイオール区に 100 億ドル以上の投資が見込まれると述べた。多くの主要な再開発プロジェクトが同区で実施される予定であり、外国人投資家を引き付けるとした。(3 月 2 日付 HDN 紙インターネット版)

### 【その他】

#### ●バクー・トビリシ・カルス間鉄道、夏までに開通予定

6 日、アルスラン運輸海事通信相は、バクー・トビリシ・カルス間の鉄道が初夏までに開通予定で、開通後はこれまで到着に 45 日かかっていた貨物が 15 日で到着することになると発表。同鉄道プロジェクトは、トルコ・ジョージア・アゼルバイジャンをつなぐものであり、アジアからヨーロッパへの物流の増加に貢献することが期待されている。(3 月 6 日付 AA インターネット版)

#### ●フィッチ、トルコ経済の緩やかな回復を予測

格付け会社のフィッチは、2017 年にトルコ経済が緩やかに回復すると予測。2017 年及び 2018 年の GDP 成長率を平均 2.6%と予測し、政治及び治安問題の動向によって消費と投資の回復速度が決まると述べた。(3 月 6 日付 DAILY SABAH 紙インターネット版)

#### ●トルコの銀行の資本状況は良好：ムーディーズ

格付け会社ムーディーズは、トルコの銀行は良好な資本状況を維持しており、周辺国との関係改善が観光業界に好影響を与えることが期待できると述べた。他方で、リラ安と景気減速がトルコの銀行の新たな懸念になっているとした。同社はまた、トルコの 2017 年及び 2018 年のインフレ率をそれぞれ 8.2%、8.0%、経常赤字の対 GDP 比について 2017 年は 5.2%、2018 年は 5.3%になると予測した。(3 月 7 日付 HDN 紙 11 面)

#### ●イスタンブール 100 種 (BIST-100) 指数、25 か月来の高値

6 日、BIST-100 指数は、前日の終値から 1.47%、1322 ポイント上昇して、91,045 ポイントで終了。終値は過去 25 か月間で最高を記録。同指数の最高記録は 2013 年 5 月の 93,398 ポイント。(3 月 8 日付 DAILY SABAH 紙インターネット版他)

## 治安

### 【ISIL関連】

#### ●2 月中に対 ISIL オペレーションで 957 名を拘束

2 月中に、警察、ジャンダルマ（軍警察）、国境警備当局が行った対 ISIL オペレーションにより 957 名が拘束された。内 122 名が拘留され、弾薬、兵器、関連書類、爆薬原料等が押収された。特に、2 月 5 日に 29 県で行われた同時オペレーションにおいては 748 名が拘束され、その週末までに合計 820 名が拘束された。(3 月 3 日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●アンカラに ISIL の学校

アンカラ検察庁の起訴状によると、ISIL 関係者が、アンカラ市内ウルジャンラル区のオフィスビルで若者を戦闘員とする為の教育を行っていたという。ISIL 関係者は学校教育を提供するため、自作のモスクや、教室、訓練センター

を建てていた。彼らはトルコ共和国の法体系や学校制度を受け入れず、子供達を公立学校に行かせなかった。捜索により、子供達の成績表や ISIL 関係の書籍、旗等が押収された。(3月3日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は3月3日付 HDN 紙インターネット版から)

### ●ISIL のイスタンブール拠点の“リーダー”釈放1年後に再拘束

イスタンブールに拠点を置く ISIL の“リーダー”と言われる、ハリス・バヤンジュク、コード名エブ・ハンザラが、2016年に一旦釈放されて1年後、イスタンブール県庁の職員を、ビデオ放送を通して脅した容疑で拘束された。バヤンジュクは、2015年7月20日にシヤンルウルフ県スルチ郡で発生した ISIL によるテロ事件の後、他の ISIL メンバーと共にイスタンブール県警テロ対策課に拘束されたが、その後2016年に釈放されていた。バヤンジュクは、複数の ISIL 関連メディアで記事を執筆したり、ISIL 戦闘員のリクルートを実施していたという。(3月9日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は3月9日付 HDN 紙インターネット版から)

### 【PKK 関係】

#### ●ディヤルバクルで大規模オペレーション

ジャンダルマ(軍警察)は、ディヤルバクル県で、ジャンダルマ兵士 7000 名、警察特殊部隊 600 名、ヘリコプター12機、装甲車 87 台を使用した、対 PKK オペレーションを実施した。(3月6日付 HT 紙 14 面)

#### ●アダナの米国総領事館のトルコ人通訳拘留。

2月23日に PKK メンバーである容疑で拘束されていた在アダナ米国総領事館職員のハムザ・ウルチャイが拘留された。同人は、通訳として 36 年間同総領事館で勤務していた。(3月8日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は3月8日付 HDN 紙インターネット版から)

### 【FETO 関連】

#### ●イスタンブールで対 FETO オペレーション 60 名拘束

8日、イスタンブール県内 32 カ所において、対 FETO 同時オペレーションが実施され、60 名の容疑者が拘束された。

FETO のメンバーと見なされた 145 名に対して逮捕状が発出、この中には軍人や軍職員が含まれている。(3月9日付 HT 紙 13 面)

#### ●大手防衛関連企業アセルサンに対する FETO 捜査始まる

警察は、トルコの大手防衛関連企業であるアセルサン内の FETO 関係者に対する捜査を始めた。9日にアンカラ検察庁によって実施されたオペレーションにより逮捕状 84 件が発出され、FETO メンバーである容疑で合計 43 名が拘束された。(3月9日付 HDN 紙インターネット版)

### 【その他】

#### ●シリア国境の壁により、違法越境等が大幅に減少

ハタイ、キリス、ガジアンテップの各県のシリア国境沿いに新設された、コンクリート製の壁によって、違法越境や密輸が大幅に減少したと、国境管理の責任者であるトルコ軍大佐が述べた。同大佐が担当する国境 169 キロの範囲で、2015 年に 2044 件あった密輸は、2016 年には 77 件まで減少した。判明した限りの違法越境についても 45% 減少し、2015 年に 1 万 2183 件であったのが、2016 年には 8531 名にまで減少した。2016 年には、違法越境を企てた第 3 国の外国人 210 名が拘束され、その大部分が ISIL 関係者であったが、PYD 関係者 49 名も含まれていた。シリアとの国境 900 km の内、826 km に壁を建設予定であり、現在までに 350 km が完成している。(3月3日付 HT 紙 12 面)

#### ●イスタンブールのシリア難民は 54 万人

内務省によると、イスタンブール市内に住むシリア難民の数は 54 万人で、イスタンブールの人口の 3.67% を占める。54 万人の内、47 万 9000 人に対して、暫定的な保護の地位が与えられており、トルコ国内で就労することができる。イスタンブールには、トルコの全シリア難民の 17.4% が居住している。(3月3日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●先週のテロ対策オペレーション結果

6日、内務省は過去一週間のテロ対策オペレーションで、少なくとも 1300 名を拘束した旨を発表した。この内、FETO 関係者が 920 名で、拘留されたのは 45 名。PKK 関係者が 386 名、ISIL 関係者が 12 名、極左グループ関係者が 12 名拘束された。同オペレーションでテロリスト 2 名が殺害され、簡易爆弾 18 個を破壊し、隠れ家 23 軒を摘発、爆薬原料 900 キログラム、手榴弾 3 個、武器 25 点を差し押さえた。(3月7日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は3月7日付 HDN 紙インターネット版から)

#### ●2016 年、女性に対する殺人事件発生件数は 397 件で前年並み

ウムット財団が発表した統計によると、2016 年の女性に対する殺人事件の発生件数は 397 件であり、その内の 80% となる 317 件が武器を使用した殺人であった。2015 年は、女性に対する殺人事件は 413 件で、武器を使用した殺人は 309 件であった。報道のとりまとめによると、トルコでは、女



性の2人に1人が、夫や同居している男性からの暴力に晒されているという。多くの女性は、当局に対して助けを求めることは役に立たないと考えている。殺された女性の20%は、殴打、絞殺、高所からの突き落としによるものであった。女性に対する殺人事件の85%は、女性が別れようとした夫や恋人、元夫、元恋人によるものであった。(3月8日付 HDN 紙インターネット版)

### ●女性の日の集会に対して、「アッラーアクバル」と叫ぶ集団が攻撃

8日、イスタンブール情報大学で、女性の日の集会が開催されていたところ、違法に大学敷地内に侵入した15名から20名の集団が、「アッラーアクバル」と叫びながら同集会に参加していた学生や警備員を殴打するなどした。警察により、6名が拘束、学生1名が負傷した。大学当局は、暴力集団に対する法的措置を開始したと発表した。(3月8日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は3月8日付 HDN 紙インターネット版から)

### ●ディヤルバクル県で過去6ヶ月で75トンの大麻押収

ディヤルバクル県庁によると、同県における過去6ヶ月間の違法薬物取り締まりによって、計65トンの大麻が押収された。末端価格は3億8700万リラになるという。(3月8日付 S 紙インターネット版)



(写真は3月9日付 S 紙インターネット版から)

## 軍事

### ●トルコ政府、マンビジのPYD問題に圧力高める

2日、チャヴシュオール外相は、マンビジからのPYD追放という米国との実現されていない約束について、「我々は、アル・バープの後にマンビジに行く。作戦はまだ始まっていないが、警告的な射撃は始まるかも知れない。我々は、米軍兵士がマンビジにいることは知っている。もしPYDがマンビジから出なければ、我々は撃つ。」と述べた。同日、ユルドゥルム首相も、国際オンプスマンとの会合において、PYDを支援する米国に対して警告を出し、「選択をせよ。我々を選ぶか、PYDを選ぶかだ」と述べた。(3月7日付 HT 紙5・14面)

### ●シリア軍戦闘機、ハタイ県に墜落

(1)4日、ユルドゥルム首相は、シリア軍所属と思われる戦闘機が、ハタイ県のシリア国境近くのサマnderのヤイラジック地域に墜落したと発表した。戦闘機から脱出したパイロット(56才)は、保護され病院に搬送された。同パイロ

ットは、「イドリブの郊外を爆撃する途上で、搭乗する戦闘機が撃墜された」旨供述している。一方、シリアの反政府武装勢力のアハラル・シャームは、イドリブ郊外を爆撃し、低空飛行していたアサド軍の戦闘機を機関砲によって撃墜したと発表した。(3月6日付 HT 紙15面、HDN 紙インターネット版)

(2)6日、ユルドゥルム首相は、墜落したシリア空軍パイロットの家族が、ハタイ県の病院に入院している同パイロットを見舞いに訪問することを、人道的見地から許可する旨述べた。(3月8日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は3月8日付 HDN 紙インターネット版から)

### ●トルコのマンビジ攻撃を米露が阻む動き

トルコ軍が支援する自由シリア軍とPYDの間で戦闘が散発していた3日、ロシア軍参謀本部は、マンビジの施政権をPYDからアサド政権に移行させることで両者が合意したと発表。一方、マンビジ軍事評議会は、ロシアの発表を否定し、マンビジとその郊外地域は、マンビジ軍事評議会と有志連合軍の保護下にあると発表。ユルドゥルム首相は、マンビジがPYDの支配からアサド政権の支配に移されるのであれば、トルコ政府は満足である旨述べた。また、米軍はマンビジに米国旗を掲げた戦闘車両や兵員輸送車を展開した。米国防総省のデービス報道官は、「マンビジは、既に解放されており、これ以上の戦闘の必要は無い。」と述べた。(3月7日付 HT 紙12面、C 紙7面)

### ●米露土の軍トップがアンタルヤで会談

参謀本部によると、7日、ダンフォード米統合参謀本部議長、ゲラシモフ露参謀総長、アカル参謀総長が、アンタルヤで3者会談を実施し、ISILの掃討作戦及び、敵対関係にある各勢力同士対応について話し合われた。

6日、ユルドゥルム首相は、「ロシアや米国との協力なしでマンビジへの作戦を進めることは現実的ではない。」と述べ、それまでの「PYDがマンビジから退去しなければ、トルコはマンビジを攻撃する」との発言からトーンダウンしていた。ロシアとアサド政権がマンビジに対して“人道支援”の車列を派遣して以降、トルコがマンビジを攻撃することは難しくなった。(3月8日付 HT 紙20面)



(写真は3月8日付 HDN 紙インターネット版から)

### ●米国国務省報道官「YPGはテロリストではない」

8日、米国国務省のトネル報道官は、トルコの懸念にも関わらず、米国はYPGを支援し続けると述べた。「我々はYPGをシリア民主軍の観点で一貫して支援してきた。彼らはISILの排除に非常に効果的であり、11月4日から始まっ

た作戦で、6000 平方km以上、100 以上の村を ISIL から開放した。我々は明確にトルコの YPG に対する懸念に留意しているが、PKK と PYG を関連づけることには同意しない。」などと述べた。(3 月 9 日付 HDN 紙インターネット版)



(3 月 9 日付 HDN 紙インターネット版)

### ●在モーストルコ総領事館建物が ISIL から解放

7 日、モースルに所在するトルコ総領事館建物が、イラク軍および連合軍によって ISIL から解放された。(3 月 8 日付 HT 紙 20 面)

## 社会

### ●セファキョイ-ベイリュクドズ間のメトロ建設へ環境影響調査が開始

イスタンブールのヨーロッパ側における主要交通網の一つとして期待されている、セファキョイ-ベイリュクドズ間のメトロ建設に向けて、環境影響調査局(ÇED)による調査が開始された。入札総額は 10 億リラを予定しており、許可がおりれば 15 km の距離に 10 の駅が建設される予定。

(3 月 2 日付 H 紙 17 面他)



(写真は 3 月 2 日付 H 紙インターネット版から)

### ●ユーラシアトンネルの通行料がインターネットで支払い可能に

ヨーロッパとアジア間を 5 分で結ぶユーラシアトンネルの通行料が、今後 [www.avrasyatuneli.com](http://www.avrasyatuneli.com) のサイトにて支払い可能となる。HGS や OGS などの電子料金収受システムを搭載していない車両や、支払いに十分な課金がされていない場合、同サイトより車の車番、ID 番号又は税番号等を入力する事により、銀行や支払い窓口に出向くことなく、クレジットカードでも精算が可能となる。

(3 月 3 日付 HT 紙 20 面他)

### ●違法な健康薬品の販売に対する罰金、昨年度 870 万リラに

保健省によれば、「インフルエンザに良いお茶」「ビタミン剤」など、違法な健康薬品を販売した 5 千 56 件のインターネットサイトが閉鎖され、2016 年度総額 870 万リラの罰金が徴収され、罰金総額は過去最高を記録した。2015 年度は合計 289 件のインターネットサイトが閉鎖され、罰金総額は 200 万リラであった。(3 月 6 日付 HT 紙 9 面他)

### ●国際女性デー関連の行事がイスタンブールで開催

3 月 8 日国際女性デーにともない、5 日曜日にトルコ各地で様々なイベントが開催された。イスタンブールでは、ベイオール区とイスタンブール市スポーツ局の共催で、マラソン大会が開催され、スタート地点のハスキョイ海岸で開催された開会式にはベイオール区長が参加した。一方、バクルキョイ自由広場では女性だけのミーティングが開催され、「男女平等とあらゆる暴力に反対」をスローガンに、女性達がカラフルに着飾って集った。(タクシムのイスティクル通りでも何千人もの女性が行進した。19:00 にフランス文化センター前に集合した女性達はスローガンを掲げてイスティクル通りを笛を吹いて行進した。(3 月 6 日付 H 紙 4 面他)



(写真は 3 月 5 日付 H 紙インターネット版から)

### ●著名な歴史学者が世界遺産の城壁の改築を批判

著名な歴史学者であるイルベル・オルタイル氏は、旧市街ファティヒ地区にありユネスコ世界遺産にも指定されている城壁が、結婚式場に改築されたことを批判した。オルタイル氏はまた、新たに設置された可動式の屋根が、歴史地区の景観を損なっていると指摘し、イスタンブール文化財保護局が然るべき対応を怠っていると述べ、ローマやスペインを見習うべきだと語った。(3 月 6 日付 DHN 紙 3 面他)



(写真は 3 月 5 日付 HDN 紙インターネット版から)

### ●カンディルリ気象台地震研究所が、日本とトルコの共同プロジェクト

ボアジチ大学カンディルリ気象台地震研究所のハルク・オゼネル所長は日本とトルコの共同プロジェクトである「マルマラ海域の地震・津波災害軽減とトルコの防災教育(MarDiM)」会議の前に、マグニチュード 7 以上の地震が予測されているイスタンブール地震で、津波発生の可能性のある事を明らかにした一方で、幸運にもマルマラ海は内海であるため巨大津波は発生しないと述べた。(3 月 8 日付 HT 紙 23 面他)

(3 月 9 日付 HT 紙 12 面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

| 略語     | 正式名称                    | 略語      | 正式名称             |
|--------|-------------------------|---------|------------------|
| AFAD   | 首相府緊急災害事態対応総局           | ÖSB     | PKKの防衛隊          |
| AKP    | 公正発展党（現与党）              | OİB     | 首相府民営化管理庁        |
| BDDK   | 銀行監督庁                   | PKK     | クルディスタン労働党       |
| BDP    | 平和民主主義党（クルド政党）          | PYD     | シリア民主主義連合党       |
| BOT    | 建設・運営・譲渡方式              | RP      | 福祉党              |
| CHP    | 共和人民党（最大野党）             | RTÜK    | ラジオ・テレビ高等機構      |
| DEP    | 民主党                     | SNC     | シリア国民評議会         |
| DHKP/C | 革命人民解放党/戦線              | SPK     | 証券取引監査院          |
| DHMI   | 国家航空局                   | SSM     | 防衛産業庁            |
| DISK   | 先進労働組合連合                | TBB     | トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会 |
| DTK    | 民主主義社会評議会               | TCDD    | トルコ国鉄            |
| DTP    | 民主社会党                   | TDHB    | トルコ歯科医師会         |
| DYP    | 正道党                     | TESK    | トルコ商工業連合         |
| EDAM   | 経済外交政策センター              | THY     | ターキッシュ・エアラインズ    |
| EPDK   | エネルギー市場監督庁              | TİKKO   | トルコ労働者・農民解放軍     |
| HDP    | 人民民主党（クルド政党）            | TMMOB   | トルコ・エンジニア・建築会議連盟 |
| HSYK   | 裁判官・検事高等委員会             | TOKİ    | トルコ集合住宅開発局       |
| İDO    | イスタンブール海上フェリー会社         | TOMA    | 放水装甲車            |
| İHH    | 人権・自由・人道支援団体            | TPAO    | トルコ石油公団          |
| İKSV   | イスタンブール文化芸術財団           | TTB     | トルコ医師会           |
| İSO    | イスタンブール産業会議所            | TÜBİTAK | トルコ科学技術研究機構      |
| İşİD   | イラク・レバントのイスラム国（アルカイダー系） | TÜİK    | トルコ統計庁           |
| İTO    | イスタンブール商工会議所            | TÜPRAS  | トルコ石油精製会社        |
| KCK    | クルディスタン共同体同盟（PKK系）      | TÜSİAD  | トルコ産業・実業家協会      |
| KESK   | 公務員労働組合連合               | TÜYİD   | トルコ投資家関係協会       |
| KRG    | 北イラク政府                  | YÖK     | トルコ高等教育評議会       |
| MHP    | 民族主義者行動党（野党）            | YSK     | 選挙高等委員会          |
| MİT    | 国家諜報機関                  |         |                  |

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

| トルコ語新聞     |    | 英字新聞                         |      | 通信社                  |     |
|------------|----|------------------------------|------|----------------------|-----|
| Akşam      | A  | Economist                    | EC   | Anadolu News Agency  | AA  |
| Cumhuriyet | C  | International New York Times | INYT | Agence France Presse | AFP |
| Habertürk  | HT | Hürriyet Daily News          | HDN  | Cihan News Agency    | CA  |
| Hürriyet   | H  | Today's Zaman                | TZ   | Doğan News Agency    | DA  |
| Milliyet   | M  |                              |      | İhlas News Agency    | İA  |
| Posta      | P  |                              |      | Interpress           | İP  |
| Radikal    | R  |                              |      |                      |     |
| Sabah      | S  |                              |      |                      |     |
| Taraf      | T  |                              |      |                      |     |
| Vatan      | V  |                              |      |                      |     |
| Zaman      | Z  |                              |      |                      |     |

在イスタンブール日本総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

| イスタンブール邦人被害統計                       |    |    |          |            |    |     |    |
|-------------------------------------|----|----|----------|------------|----|-----|----|
| 2017.1.1～2017.3.9 ※総領事館に訴出があったものを集計 |    |    |          |            |    |     |    |
| 年                                   | 窃盗 | 詐欺 | ぼったくり/バー | 高額絨毯購入(相談) |    |     |    |
|                                     | 今週 | 通算 | 今週       | 通算         | 今週 | 通算  | 今週 |
| 2016年                               |    | 7件 |          | 2件         |    | 24件 | 2件 |
| 2017年                               | 0件 | 1件 | 0件       | 0件         | 0件 | 2件  | 0件 |

●今週は被害の届けはありませんでした。

★当館 HP 更新のお知らせ★

●EMITT2017（東地中海国際旅行博 2017）で日本ブースが受賞しました（2/2）**NEW**

●外務省海外安全ホームページなりすましメールにご注意ください（02/09）**NEW**